

令和3年

第1回町議会臨時会

行政報告

(令和3年2月5日)

幕別町長 飯田 晴義

お許しをいただきましたので、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金についてご報告させていただきます。

(新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種について)

はじめに、新型コロナウイルス感染症にかかるワクチン接種について申し上げます。

国では、新型コロナウイルス感染症の発症を予防し、まん延防止を図ることを目的に、予防接種法の一部を改正するとともに、自治体向けの説明会の開催やワクチン接種に向けた手引きを作成するなど、全国の自治体に円滑な接種を実施するため、体制の確保を図るよう求めているところであります。

ワクチンの接種は、原則、居住地において受けることとなっており、接種の順位は、最初に医療従事者等、次に65歳以上の高齢者、次に高齢者以外で基礎疾患を有する方や高齢者施設等の従事者となっており、その後、これら以外の方に対し順次接種するとしております。

このことから、町では、国のスケジュールに沿って円滑にワクチン接種ができるようにするため、住民福祉部保健課を主管課とし、接種に向けた体制作りを進めるとともに、町内医療機関との打ち合わせや会場の確保、必要となる物品の検討などの準備を進めているところであります。

ワクチンの接種対象年齢は、16歳以上とされていることから、町内の接種対象者数は、2月1日現在2万3千308人、うち65歳以上の高齢者は9千150人であり、これらすべての方が円滑に接種を受けることができるよう、町内の医療機関での個別接種のほか、保健福祉センターやコミュニティセンターなど町が設置する会場で行う集団接種の実施を想定しており、今後、接種に関する相談体制や予約方法など、早急に決定し、対象者に対しわかりやすい情報の提供に努めてまいりたいと考えております。

なお、先行して接種が行われることとなる65歳以上の高齢者のワクチン接種に係

る直ちに必要となる準備経費を、本日、補正予算として提案させていただきましたが、今後、第1回定例会において、全接種対象者に係るワクチン接種費用について必要な予算を提案させていただきたいと考えております。

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について)

次に、国の第3次補正予算に係る新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について申し上げます。

2月2日に内閣府から公表されました本町における交付限度額は、「新型コロナウイルス感染症対応分」として4,538万8千円、「地域経済対応分」として1億7,685万1千円の合計2億2,223万9千円となっており、第1次及び第2次補正予算分の交付限度額と合わせますと、合計8億7,205万9千円となるものであります。

町といたしましては、これまでも臨時交付金を活用して「頑張る事業者応援事業」や「新型コロナウイルス感染症関連融資円滑化事業」など経済対策及び「公共施設換気対策事業」として町内の全小・中学校の普通教室等にエアコンを設置するなど感染防止対策を実施してまいりましたが、この度の国の第3次補正予算分を活用し、これまで実施してきました事業の拡充等を含め、懸命に努力されている事業者への支援を最優先に、地域経済対策や感染防止に資する新たな事業を実施するべく、現在検討を進めているところであり、できる限り早い時期に、補正予算として提案させていただきたいと考えております。

以上、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種及び新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金についてのご報告とさせていただきます。